

令和2年度 学校評価表(計画・**中間**・最終)

【 5月末・**11月末**・3月初旬 】

学校名(熊野第三小学校)

a 学校教育目標	自ら鍛え 自ら磨く つよく かしこく やさしい子	b 経営理念 ミッション・ビジョン	熊野町教育行政施策の方針「成長が”実感”できる教育の推進」 共に高まり合う熊三小学校文化の創造
-------------	-----------------------------	-------------------------	--

評価計画(5月末提出)					自己評価					学校運営協議会委員による評価			n改善方策		
c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h 達成値	i 達成値	j 達成度 i=h/g	k 評価 A~D 4段階 評価	l 結果と課題の説明 (短期経営目標につ いての評価結果)	I 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	10月	2月
					10月	2月					イ 適正	ロ 不適 正			
. . . 健 確 豊 や か か な な な 学 心 体 力 の 育 成	・何度でもあきらめず にチャレンジする姿 【向上心】 ・学びを深める姿 ・分かりやすく伝える 姿 【分かる・できる力】 【表現力】 ・優しく接する姿 【思いやり】 の育成	おもいやりの実現	○教育活動全体を通じて 行う道徳教育の充実 ・おもいやりプログラムの 実施 ○思いやりの心を育てる場 の工夫 ・聞き合う・伝え合う力の向 上を図る授業づくり ・縦割り班活動の工夫 ・「ありがとうの木」の活用 ・ロング昼休憩などの遊び の充実	80%	71%		88%	B	思いやりに関する意 識調査では、肯定的 な評価をした児童は 88%であった。そのう ち「ありがとうの木を 自分から進んで書い ている」という質問に 肯定的な評価をした 児童は78%、同質問 に肯定的な評価をし た教師の割合は、 54%にとどまった。					「思いやりの実現」 に向けて、「ありが とうの木」の取組へ の教師側の意識を 高める。「ありが とうの木」は、何のた めに行っているのか 教職員で共通認識 したり、児童への環 境整備も整えてい く。	
そ の 他	共に高まり合う熊三 小学校文化の創造	教職員 児童 保 護者 地域と共に 創る学校文化	○保護者・地域参加型の 活動の充実 ・おもいやりプログラムの 実施(保護者) ・「ありがとうの木」の取組 への参加(地域)	80%	95%		118%	A	保護者参加型の活 動を実施することは できなかったが、「お もいやりプログラム」 は実施することがで きた。 保護者への意識調 査では、95%の肯定 的評価を得ることが できた。 地域の方に「ありが とうの木」の取組に 参加してもらうこと もできなかった。				学校外の人との 直接的な教育活動 を実施することが 難しい状況である ので、「ありがとう の木」の花や実を 保護者や地域の人 に配付し、記述し てもらう等の工夫を していく。		

j評価 A~D 4段階評価

- A: 100 ≤ (目標達成)
- B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
- C: 60 ≤ (もう少し) < 80
- D: (できていない) < 60